

企画展

幕末維新の刀剣

新々刀

再び響く槌の音

令和8年 1.31 土曜日 → 4.12 日曜日

前期:1月31日(土)~3月8日(日) 後期:3月10日(火)~4月12日(日)
※一部資料の展示替を行うため、3月9日(月)は展示をご覧いただけません。

9時~17時 入館は16時30分まで
※期間中は休館日なし、桜まつり期間中は延長営業あり

 三河武士のやがた家康館

企画展示室1(特別展示室)・企画展示室2

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561-1 岡崎城公園内 TEL 0564-24-2204

[表紙] 監指 銘 源清磨/嘉永二年二月日(刀剣ワールド財団蔵)

企画展 幕末維新の刀剣

新々刀

再び響く槌の音

新々刀とは、江戸時代の安永期(一七七二〜八二)から明治九年(一八七六)の廃刀令までの約一〇〇年間に製作された日本刀をさします。元禄期(一六八八〜一七〇四)以降、平和な世の中が続き、日本刀の需要はほとんど失われていました。それが安永頃になると、生活に困窮した者たちによる一揆や、尊王攘夷論の高まりなどによって、再び日本刀の需要が増え始めました。それに応えるべく、刀工たちは日本刀製作に勤しみ、鍛錬場には槌の音が響きわたりました。これが「新々刀」時代の幕開けといえます。

本展では全国的に名が知られる刀工作から、地元尾張・三河で製作された作品まで新々刀を一堂に展示します。幕末維新の動乱期において、再び隆盛を誇った日本刀の力強さに触れていただく機会になれば幸いです。

関連イベント

ギャラリートーク

担当学芸員が展示資料の解説を行います。

日時 2月22日(日)、3月22日(日)
14:30~(45分程度)
場所 当館エントランスホール集合
参加費 入館料のみ

新々刀鑑賞会

展示ケースを隔てることなく、新々刀をご覧ください。

日時 2月15日(日)
①10:30~12:00
②14:00~15:30
場所 城南亭(岡崎城公園内)
定員 各回10名(先着)
申込 1月10日(日)9:00から電話にて受付
(☎0564-24-2204)
参加費 500円(抹茶一服付)

クイズ!新々刀あれこれ

企画展を鑑賞してクイズに挑戦しよう!
全問正解で先着300名様にオリジナルポストカードをプレゼントします。

日時 企画展開催中
参加費 入館料のみ

入館料

大人(中学生以上) / 400円
小人(5歳以上)・市民割(高校生以上) / 200円

市内に住所を有する中学生以下の方又は65歳以上の方及び、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、WICカードのいずれかを所持する方は無料。
※岡崎市民の方は住所及び生年月日の確認できるもの(運転免許証及びマイナンバーカードなど)をご提示ください。

主催

岡崎市 / 岡崎城公園指定管理者 一般社団法人岡崎パブリックサービス
日本美術刀剣保存協会名古屋支部 / 日本美術刀剣保存協会三河支部

交通案内

- 名鉄「東岡崎駅」より徒歩15分
 - 愛知環状鉄道「中岡崎駅」より徒歩15分
 - 名鉄東岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
 - JR岡崎駅よりバス「康生町方面行き」乗車→「康生町」下車→徒歩5分
- 車の場合は東名高速道路「岡崎IC」より名古屋方面へ3km(国道1号線沿い)

駐車場案内

(利用時間)24時間制

乗用車 [7:00~22:00]150円/30分 [22:00~翌日7:00]50円/30分 上限1500円
バス [7:00~22:00]2000円/1回 [22:00~翌日7:00]1000円/1回 上限3000円

※桜まつり期間中は料金を変更する場合がございます。



(右から)
 刀 銘 伯耆守平朝臣正幸 / 寛政六寅八月(竜城美刀会蔵)
 刀 銘 濃州住永貞同義重作 / 文久四年二月日
 (関鍛冶伝承館蔵、撮影:株式会社スタジオギブ 野田 正明)
 脇指 銘 作陽幕下土細川正義(刻印) / 天保八丁酉年二月日龍城臣吉達影作(当館蔵)
 短刀 銘 於江府清人作之 / 安政六年八月日(個人蔵、後期展示)

刀 銘 岡山宗兵衛宗次造之 / 天保八丁酉八月吉日 / 一ツ開断切手山田五三郎(個人蔵)